

提言第10号 大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析

事例6

< 事例概要 >

- ・ 70 歳代。膠原病で入院中。
- ・ 腫瘍マーカー高値のため、精査目的で大腸内視鏡検査が予定された。
- ・ 検査前日、ピコスルファートナトリウム10 mL を服用し、便意はあるが反応便なし。検査当日、モビプレップを900 mL 服用したところで嘔吐あり、検査が中止となった。血圧低下あり、腹部CT 検査で糞便性腸閉塞が疑われ、翌日死亡した。
- ・ 死因は、糞便性腸閉塞、脱水に伴う循環不全の疑い。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖無。